

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月15日

上場会社名 中央ビルト工業株式会社

コード番号 1971 URL <http://www.chuo-build.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 安秀

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 安達 圭朗

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-3661-9631

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第3四半期 | 6,556 | 2.2 | 750 | 192.9 | 681 | 325.7 | 417 | 232.5 |
| 21年3月期第3四半期 | 6,414 | — | 256 | — | 160 | — | 125 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 20.33 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 6.11 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 9,309 | 2,182 | 23.4 | 106.17 |
| 21年3月期 | 8,572 | 1,804 | 21.1 | 87.76 |

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,182百万円 21年3月期 1,804百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | 2.00 | 2.00 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 22年3月期 (予想) | | | | 2.00 | 2.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,240 | △3.8 | 710 | 104.1 | 620 | 174.1 | 390 | 60.5 | 18.97 |

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他を参照。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他を参照。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 20,687,400株 21年3月期 20,687,400株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 132,595株 21年3月期 124,555株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 20,557,872株 21年3月期第3四半期 20,576,898株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいる。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合がある。業績予想の前提条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報を参照。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、2008年秋のリーマン・ショック後、深刻な需要不足に陥り、消費者物価指数の前年同月比下落率が8月に過去最大の2.4%になるなど物価の下落基調が目立っている。雇用情勢は、7月の完全失業率5.7%と過去最悪を記録、11月においても5.2%と依然として高い水準を保っている。また、企業の設備投資も、業績悪化を背景に大幅に減少しており、依然として厳しい経済環境が続いている。

当社が属する仮設業界においては、建設工事現場における墜落事故防止対策の強化を図る為、労働安全衛生規則の一部法改正が施行され、「下棧」や「幅木」等の安全仮設機材の設置が義務化となり、その需要が拡大しているものの、主要顧客先の建設業界では、民間の建築工事受注が低迷し、厳しい状況が続いている。また、当社の一方の柱である鉄構事業が属する住宅業界では、雇用環境の悪化が影響し、住宅着工戸数の下げ止まりの兆しが見えず、依然低迷を続けている。

このような経済環境の中にあり、当第3四半期累計期間の業績は売上高は65億5千6百万円（前年同累計期間比2.2%増）と増収になり、売上総利益は16億1千9百万円（前年同累計期間比23.5%増）と増益になった。前年同累計期間比で増収増益となった主な要因は、平成21年6月1日の厚生労働省による労働安全衛生規則改正に伴い、安全確保強化の為の安全仮設機材の需要急増を受け当社主力商品「アルミスカイガード」をはじめとする安全仮設機材の製造・販売が好調であったこと、生産工程見直しによる製造コスト及び経費の削減を行ったことが挙げられる。

また、営業利益7億5千万円（前年同累計期間比192.9%増）、経常利益6億8千1百万円（前年同累計期間比325.7%増）、四半期純利益4億1千7百万円（前年同累計期間比232.5%増）とそれぞれ大幅増益となった。前年同累計期間比で増益となった主な要因は、本業が好調であったこと以外に、千葉・福岡土地買戻し及び本社移転による地代家賃の削減、株価が回復し年金資産が上昇したことによる退職給付費用が減少したこと、更に、前期はシンジケートローン組成関連の一過性費用があったことが挙げられる。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は93億9百万円となり、前事業年度末に比べ7億3千6百万円の増加となった。この内訳は主に現金及び預金が5億7千6百万円、売上債権が2億1千9百万円、前事業年度末に比べ増加したことによるものである。また純資産合計は前事業年度末の18億4百万円から3億7千7百万円増加し21億8千2百万円となり、自己資本比率は前事業年度末の21.1%から23.4%に上昇した。

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ6億2千7百万円増加の9億4千6百万円となった。活動別のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりである。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

主な増加要因として、税引前四半期純利益6億8千1百万円、仕入債務の増加による3億9百万円、減価償却費（リース資産含む）の計上3億8百万円、適格退職年金の財政再計算による年金資産返戻金の受取収入1億7千8百万円が挙げられる。

主な減少要因として、売上債権の増加による1億6千8百万円、棚卸資産の増加による8千万円が挙げられる。

以上の要因により営業活動によるキャッシュ・フローは、12億7千5百万円の収入（前年同期は6億3千7百万円の収入）となった。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

主な増加要因として、本社事務所移転に伴う差入保証金の返戻による収入4千万円が挙げられる。

主な減少要因として、貸与資産（貸貸機材）の新規投資、その他有形固定資産の取得による支出3億5千2百万円が挙げられる。

以上の要因により投資活動によるキャッシュ・フローは、3億1千万円の支出（前年同期は17億5百万円の支出）となった。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入れは、全て当座借越枠の利用による増減であり、前事業年度末と比べて7千万円の増加となった。

長期借入れは、シンジケートローンの約定返済による減少であり、前事業年度末と比べて3億5千1百万円の減少となった。

また、リース資産の債務の返済による支出と配当金の支払による支出があり、以上の要因により財務活動によるキャッシュ・フローは、3億3千7百万円の支出（前年同期は14億6千4百万円の収入）となった。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、平成21年10月22日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりである。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示するものとする。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定している。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっている。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却可能価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっている。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

前第3四半期会計期間において営業外費用に「シンジケートローン手数料」を表示していたが、金額に重要性がないため第2四半期会計期間より「雑支出」に含めている。

なお、当第3四半期累計期間の営業外費用の「雑支出」に含まれる「シンジケートローン手数料」は3,500千円である。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 947 | 370 |
| 受取手形 | 1,337 | 987 |
| 売掛金 | 1,087 | 1,217 |
| 製品 | 555 | 492 |
| 仕掛品 | 134 | 152 |
| 原材料及び貯蔵品 | 316 | 280 |
| 繰延税金資産 | 35 | 15 |
| その他 | 13 | 62 |
| 貸倒引当金 | △9 | △8 |
| 流動資産合計 | 4,417 | 3,569 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 1,870 | 1,871 |
| 減価償却累計額 | △1,474 | △1,447 |
| 建物(純額) | 395 | 424 |
| 構築物 | 617 | 617 |
| 減価償却累計額 | △563 | △552 |
| 構築物(純額) | 54 | 64 |
| 機械及び装置 | 2,258 | 2,233 |
| 減価償却累計額 | △2,077 | △2,042 |
| 機械及び装置(純額) | 180 | 190 |
| 貸与資産 | 8,659 | 8,715 |
| 減価償却累計額 | △7,981 | △8,070 |
| 貸与資産(純額) | 677 | 644 |
| 車両運搬具 | 108 | 108 |
| 減価償却累計額 | △106 | △105 |
| 車両運搬具(純額) | 2 | 3 |
| 工具、器具及び備品 | 266 | 240 |
| 減価償却累計額 | △237 | △223 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 29 | 17 |
| 土地 | 3,318 | 3,318 |
| リース資産 | 121 | 110 |
| 減価償却累計額 | △17 | △6 |
| リース資産(純額) | 104 | 104 |
| 有形固定資産合計 | 4,763 | 4,767 |
| 無形固定資産 | 8 | 10 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 21 | 18 |
| 破産更生債権等 | 0 | 25 |
| 繰延税金資産 | 0 | 1 |
| その他 | 98 | 204 |
| 貸倒引当金 | △0 | △25 |
| 投資その他の資産合計 | 119 | 224 |
| 固定資産合計 | 4,892 | 5,002 |
| 資産合計 | 9,309 | 8,572 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 1,225 | 973 |
| 買掛金 | 839 | 788 |
| 短期借入金 | 1,550 | 1,480 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 469 | 469 |
| リース債務 | 18 | 16 |
| 未払法人税等 | 287 | 6 |
| 賞与引当金 | — | 35 |
| 役員賞与引当金 | 12 | 16 |
| その他 | 239 | 237 |
| 流動負債合計 | 4,642 | 4,024 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,284 | 2,636 |
| 長期預り金 | 1 | 1 |
| リース債務 | 86 | 90 |
| 退職給付引当金 | 86 | — |
| 役員退職慰労引当金 | 24 | 13 |
| 固定負債合計 | 2,485 | 2,743 |
| 負債合計 | 7,127 | 6,767 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 275 | 275 |
| 資本剰余金 | 526 | 526 |
| 利益剰余金 | 1,393 | 1,017 |
| 自己株式 | △13 | △12 |
| 株主資本合計 | 2,182 | 1,806 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △0 | △1 |
| 評価・換算差額等合計 | △0 | △1 |
| 純資産合計 | 2,182 | 1,804 |
| 負債純資産合計 | 9,309 | 8,572 |

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 6,414 | 6,556 |
| 売上原価 | 5,103 | 4,936 |
| 売上総利益 | 1,311 | 1,619 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,054 | 869 |
| 営業利益 | 256 | 750 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 2 |
| 受取配当金 | 1 | 1 |
| 受取地代家賃 | 4 | 3 |
| 雑収入 | 2 | 0 |
| 営業外収益合計 | 11 | 7 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 57 | 69 |
| シンジケートローン手数料 | 38 | — |
| 雑支出 | 11 | 7 |
| 営業外費用合計 | 107 | 76 |
| 経常利益 | 160 | 681 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | — |
| 受取補償金 | 14 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 14 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 18 | 0 |
| 事務所移転費用 | 15 | — |
| 臨時損失 | 12 | — |
| その他 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 46 | 0 |
| 税引前四半期純利益 | 128 | 681 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2 | 284 |
| 法人税等調整額 | — | △20 |
| 法人税等合計 | 2 | 264 |
| 四半期純利益 | 125 | 417 |

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 128 | 681 |
| 減価償却費 | 310 | 308 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 31 | 0 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △38 | △35 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △1 | △4 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 10 | 10 |
| 支払利息 | 57 | 69 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4 | △3 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 553 | △168 |
| 割引手形の増減額 (△は減少) | △191 | — |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △302 | △80 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 97 | 309 |
| その他 | 49 | 85 |
| 小計 | 701 | 1,172 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4 | 3 |
| 退職年金資産の返還による収入 | — | 178 |
| 利息の支払額 | △56 | △69 |
| 法人税等の支払額 | △11 | △10 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 637 | 1,275 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,937 | △352 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 238 | — |
| その他 | △6 | 41 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,705 | △310 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 230 | 70 |
| 長期借入れによる収入 | 1,780 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △479 | △351 |
| リース債務の返済による支出 | △2 | △13 |
| 配当金の支払額 | △61 | △41 |
| その他 | △1 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,464 | △337 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 396 | 627 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 275 | 318 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 671 | 946 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし